

ISOM'16 報告



ISOM'16 会場となった京都市リサーチパーク

ISOM (International Symposium on Optical Memory) は 1985 年にスタートした SOM (Symposium on Optical Memory) を母体に 1987 年から継続的に開催されている光メモリ技術に関する国際学会であり、今年 (2016 年) は 10 月 16 日 (日) ~20 日 (木) の会期で、京都市の京都市リサーチパークにおいて開催された。

光協会は ISOM スタート時からのスポンサーであり、今年も共催団体として小谷専務理事以下関係者が出席した。

ISOM における研究発表分野は、ISOM'16 から大幅に拡張され、光メモリシステムの設計とアプリケーションの最新動向に加え、イメージセンシング、光メディカル・バイオ、光情報システム、光テクノロジー、光関係の最新技術分野等の広範な技術領域を含んでおり、各分野の研究者から最新の研究成果が紹介された。

さらに、今回は国立天文台の家名誉教授による “Optical Memory of the Cosmic History” と題する特別招待講演が行われ、来場者に好評だった。

今回の ISOM'16 の参加者数は 115 名であり、開催国の日本と、韓国、台湾、中国、米国、英国、ロシアからの参加があった。

ISOM'16 国別参加者数

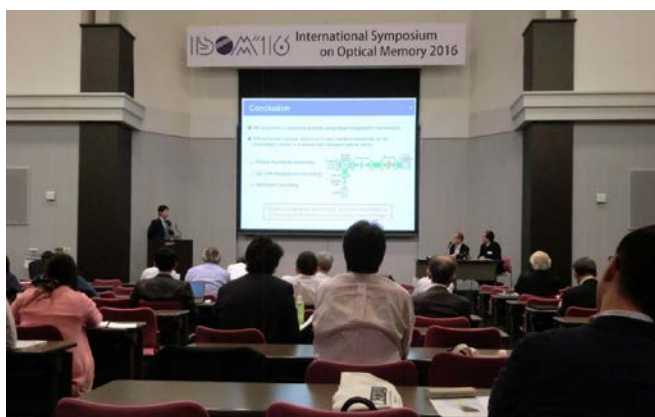
日本	韓国	台湾	中国	米国	英国	ロシア	合計
91	10	10	1	1	1	1	115

応募論文件数は 56 件で、日本、韓国、台湾に加え中国からも応募があった。招待講演、ポストドドラインペーパーを含めた 75 件について 12 のセッションで口頭発表とポスターセッションが行われ、活発な討議が繰り広げられた。

ISOM'16 国別応募論文件数

日本	韓国	台湾	中国	合計
39	9	6	2	56

今後も ISOM は、光メモリ技術をコアとしながらも関連する幅広い技術領域における最新の研究成果発表、技術交流の場として、技術・研究の発展に貢献していくことが期待されている。新しい領域への展開を反映して、次回から ISOM の正式名称を ISOM (International Symposium on Imaging, Sensing, and Optical Memory) に変更することが決定された。次回の ISOM'17 (http://isom.jp/ISOM17_First_call_for_paper.pdf) は、松江市のくにびきメッセにおいて 2017 年 10 月 22 日 (日) ~25 日 (水) の会期で開催される予定である。



Oral Session Hall



Poster Session



ISOM'16 参加者集合写真